



# 二輪草だより

2020年12月号  
発行:二輪草センター



年末年始のお休み期間は12月29日～1月3日です



## メンタリング・シャドウイング研修で北海道大学の先生が二輪草センターにこられました

北海道大学では2019年度の科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」に採択された事業で、北海道大の女性研究者が上位職の教員とのメンタリングやシャドウイングを行う自主的な研修を支援しています。今回は、11月4日から3日間、北海道大学病院の講師、田中佐織先生が本学の谷野美智恵教授をメンターとして来学されました。この期間中、5日には二輪草センター、病児・病後児保育室「のんの」の見学と、山本明美センター長との面談の時間もとっていただきました。コロナウイルスの影響で他施設の方をお迎えする機会が減っておりましたので大変貴重な時間でした。このような研修プログラムは旭川医大にはないので大変参考になりましたし、今後、ぜひ本学でもとりいれていただきたいと思います。また、田中先生にとっても周囲にロールモデルとなる女性の上位職が少ないとのこと、今回の本学の訪問が情報交換の良い機会になったのではないかと思います。



### 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【11月20日～12月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	3回	稼働回数	3回
病児・病後児保育室	依頼回数	2回	利用回数	2回
カウンセリング相談			利用回数	3回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249

開設時間8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)

ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>



## 医療概論Ⅲ『ワークライフバランスを考えよう』終了報告

二輪草センター助教 菅野 恭子



2020年10月5日に医学科3年生を対象に「ワークライフバランスを考えよう」の講義および実習を行いました。今年度はコロナ対策のためリモートでの開催となりました。まずはZoomで教育センターの野津教授から開催のご挨拶を頂いた後、二輪草センターについての説明とワークライフバランスの講義を行いました。その後manabaでグループ討論をしてもらいました。グループに分かれて4つの想定ケースに関して、キャリアプラン、問題点などを議論し、討論内容はmanaba上で各グループから発表し意見交換してもらいました。ZoomやLINEとは違いコメントに時間差が生じ、使いづらい点もあったなか、ディスカッションや発表をしてもらい、従来の授業内容に沿った形で終える事ができました。この課題を通して様々な問題に対してどの様に対処していくか、そして自分とパートナーのキャリアをどう考えていくのか、育児・親の介護など家族の変化が人生設計に影響することも学んでもらいました。



「先輩医師のワークライフ体験談」では2人の先生からお話し頂きました。小児科の石羽澤映美先生からはお二人の子育てをしながらどの様に仕事と子育てを両立しているかをお話し頂きました。留学先での生活についてもお話し頂き、多くの学生からためになったとの意見が寄せられました。

整形外科の柴田宏明先生からは、本学で初となる男性の育児参加休業を取得された経緯と体験談についてお話し頂きました。上司や職場の理解があったこと、事前の手術等の調整などが必要だったことをお話しされました。育児休暇を取ることで家事・育児の大変さを知り、意識が変わったそうです。ポストアンケートでは男子学生の育児休暇に対する関心の高さが伺えました。



最後に二輪草センター長の山本先生から、ストレスのとらえ方、つきあい方について教えてもらいました。この講義をきっかけに自身のキャリアプランを考えワークライフバランスを充実させることができる学生が増えることを期待します。今回のリモート授業について教育センターの井上先生に多大なご支援を頂きました。またタスクフォースとしてご参加いただきました赤坂先生(副センター長)、神田先生(麻酔科)佐藤先生(教育センター)、谷野先生(病院病理)、横浜先生(産婦人科)(五十音順、敬称略)、お忙しいところご協力いただきましたことを深謝致します。

